

令和7年度  
山形県自主防災組織リーダー研修会  
実施報告書

一般財団法人 日本防火・防災協会  
山形県

# 目 次

1	令和7年度山形県自主防災組織リーダー研修会 実施概要	・・・	1
2	参加者名簿	・・・	3
3	アンケート設問及び結果	・・・	6
4	実施状況写真	・・・	8
<b>■ 参考資料（研修資料）</b>			
①	講義 「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」	・・・	11
②	演習 「災害図上訓練D I G」	・・・	26
③	演習 「防災まち歩きとマップづくり」	・・・	38
④	講義 「デジタルを活用し日ごろの備えと災害時の行動をつなぐ～防災タイムラインを中心に～」	・・・	45

## 令和7年度山形県自主防災組織リーダー研修会実施概要

### 1 開催方法・目的

自主防災組織の指導的立場にある県民（未組織地域の代表者を含む）を対象に、地域における日ごろからの防災・減災対策を実践していくための手法、災害が発生した場合の対応を考える方法についての講演・訓練を受講することにより、地域における防災・減災を推進することを目的とした研修会を県内2会場で実施する。

### 2 主催等

主催：山形県、一般財団法人 日本防火・防災協会 後援：総務省消防庁

### 3 開催日時及び開催場所

- (1) 村山会場 日時：10月9日（木） 場所：山形県庁講堂  
(2) 庄内会場 日時：10月10日（金） 場所：荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)  
小ホール

### 4 研修内容・タイムスケジュール

- ・ 9：00～9：05（10/10 10：00～10：05） 開会
- ・ 9：05～15：00（10/10 10：05～16：00） 防災講話・演習  
『自主防災組織の役割と地域を守る災害図上訓練（仮）』  
＜午前＞ 講義 地域防災の進め方、災害図上訓練について  
＜午後＞ 演習 防災まち歩き と 災害図上訓練  
講師：山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏
- ・ 15：00～15：30（10/10 16：00～16：30） 講話  
『デジタルを活用したマイタイムラインの紹介（仮）』  
講師：LINE ヤフー株式会社 サステナビリティ推進統括本部  
災害支援推進部 災害協定プロジェクト担当 森 禎行 氏
- ・ 15：30～15：35（10/10 16：30～16：35） アンケート・閉会

### 5 受講者

- (1) 村山会場 71名  
(2) 庄内会場 18名  
計 89名

#### (3) 参加対象者

以下の項目に該当し、市町村が推薦する方

- ・ 自主防災組織の指導的立場にある方、その補佐的な立場にある方
- ・ 今後、自主防災組織を結成しようとする方
- ・ 自治体、社会福祉協議会などで防災、災害支援を担当している方
- ・ 当該研修会に参加したことがない方

## 講師紹介

### 講話・演習 『自主防災組織の役割と地域を守る災害図上訓練（仮）』

講師 瀧本 浩一（たきもと こういち） 氏

- ・ 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授
- ・ 福岡県出身。工学博士。専門は防災教育、防災とまちづくり、社会知能情報学。
- ・ 消防庁消防大学校客員教授、青森県防災アドバイザー、佐賀県総合防災アドバイザー、広島県防災・減災アドバイザーなどを務める。
- ・ 年間 150 箇所の各自治体や地域での防災講演・防災研修が認められ、平成 18 年度総務省防災まちづくり大賞：消防庁長官賞を受賞。
- ・ 大学での教育・研究に加えて、国・地方公共団体・企業等において年間 100 件超の防災講演・研修等の講師を務め、地域防災リーダーの育成や地域防災力向上のため、精力的に活動。

### 講話 『デジタルを活用したマイタイムラインの紹介（仮）』

講師 森 禎行（もり さだゆき） 氏

- ・ LINE ヤフー サステナビリティ推進統括本部 災害支援推進部 災害協定プロジェクト担当
- ・ 東京都出身。LINE ヤフーでは、Yahoo!ニュースの編集、EC 販売企画などを経て、災害支援推進部にて防災・災害対応に従事
- ・ 災害協定プロジェクトとは、全国 1500 の自治体と災害情報に関する協定を結び、自治体の情報発信などをサポート。その企画・運用を担当
- ・ 副業で、福島県移住政策アドバイザー、自治体 DX アドバイザーも従事

## 令和7年度山形県自主防災組織リーダー研修会 アンケート設問及び結果

### ■ 参加者数等

- 参加者数 89名
- アンケート回収数 81枚（回収率91%）

### ■ 設問と回答結果

#### 1 研修会全体をとおして、今後の自主防災組織の活動に役に立ちましたか。

No.	選択肢	回答数	割合
(1)	大変役に立った	72	88.8%
(2)	やや役に立った	8	9.87%
(3)	ふつう（どちらとも言えない）	1	1.2%
(4)	あまり役に立たなかった	0	0.0%

#### 2 研修内容について理解できましたか。

No.	選択肢	回答数	割合
(1)	十分理解できた	46	69.1%
(2)	やや理解できた	34	41.9%
(3)	どちらとも言えない	0	0.0%
(4)	あまり理解できなかった	0	0.0%

#### 3 講師についての評価をお聞かせください。

No.	選択肢	回答数	割合
(1)	大変良い	65	80.2%
(2)	良い	15	18.5%
(3)	どちらとも言えない	1	1.2%
(4)	あまり良くない	0	0.0%

#### 4 どの講義内容が良かったですか。（複数回答可）

No.	選択肢	回答数
(1)	講義（山口大学 瀧本氏）	66
(2)	災害図上防災訓練	34
(3)	防災まちあるきとマップづくり	40
(4)	講義（LINE ヤフー 森氏）	20

## 5 今回の研修についてのご意見を自由に記入してください。

- 本来の防災の意味を改めて研修できた。町内の組織を改めて編成するため、大いに役に立った。
- 災害図上訓練は是非地区で行いたいと思った。
- 予防段階での自主防災組織のはたらきの大切さを認識できた。マップづくりは分かりやすく、自分のところでも参考にしてみたい。
- 各市町村単位でも同様の研修会を開催してほしい。
- 防災に対する考え方・意識が変わるきっかけとなる内容だった。
- 配布されるキャップ・ベストに防災リーダーと文字が入っているが住んでいる地区でそのような役職はないため、利用しづらい。
- 講師のエネルギーで情熱的な講和を受け、心に響いた。今後の防災に役立てたい。
- 防災なくして減災なしを大切に今後取り組みたい。
- 地区長として防災訓練などをどの様に実施すればよいか考えさせられた。
- 今回の内容を地域に帰って、住民に還元していくことが大事だと思った。
- 日頃起こり得る事を全て想定しての訓練が重要と学習した。地域づくりと連携することが重要だと再認識した。
- 女性の参加者が少ないのもっと参加を促したほうがいい。
- 地元の地図を利用した避難マップ作りができればよかった。

## ■ 実施状況写真

□ 村山会場(山形県庁講堂) 令和7年10月9日(木) 9:00~15:30

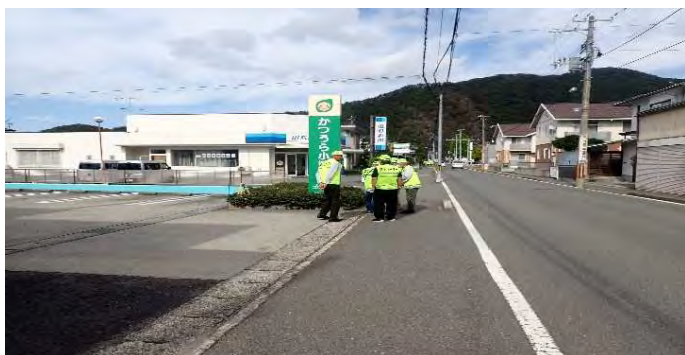
### ● ①講義「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」



### ● ②演習「災害図上訓練D I G」



### ● ③演習「防災まち歩きとマップづくり」



### ● ④講義「デジタルを活用し、日ごろの備えと災害の行動をつなぐ」



## ■ 実施状況写真

□ 庄内会場(荘銀タクト鶴岡) 令和7年10月10日(金) 10:00~16:30

### ● ①講義「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」



### ● ②演習「災害図上訓練D I G」



### ● ③演習「防災まち歩きとマップづくり」



### ● ④講義「デジタルを活用し、日ごろの備えと災害の行動をつなぐ」



# 参考資料

## 《研修資料》

①講義	「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」	・・・	11
②演習	「災害図上訓練D I G」	・・・	26
③演習	「防災まち歩きとマップづくり」	・・・	38
④講義	「デジタルを活用し日ごろの備えと災害時の行動をつなぐ～防災タイムラインを中心に～」	・・・	45

# 地域防災・減災の考え方と 自主防災組織の役割

山口大学大学院 創成科学研究科  
総務省消防庁 消防大学校

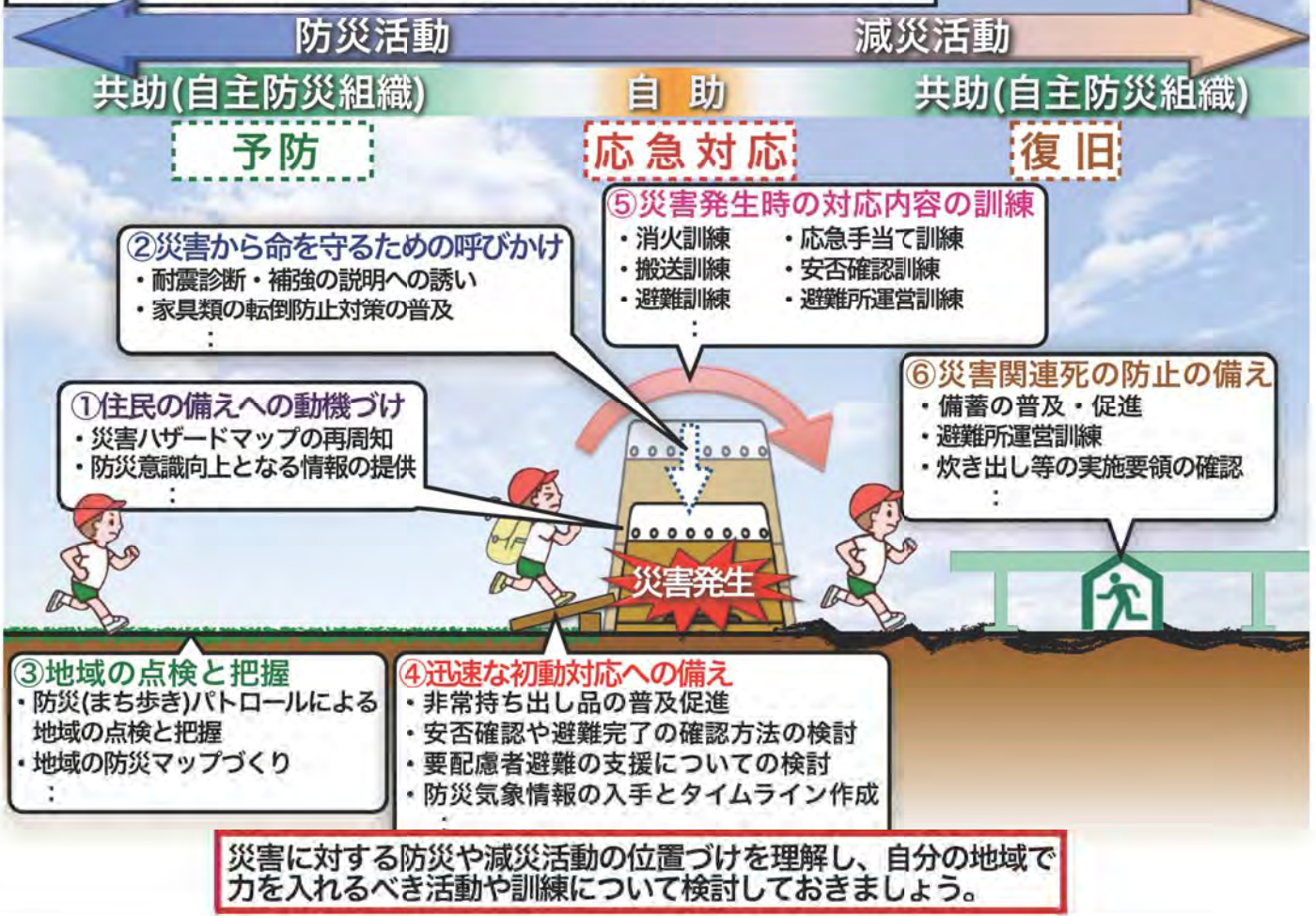
瀧本 浩一

## はじめに

### 防災・減災とは？



# 災害に対する地域の活動・訓練の位置づけ



## ①住民の備えへの動機づけ → 共助力により自助力を高める ハザードマップのうち該当地域の範囲を拡大(凡例も切り貼り)したものを・・・

- ・地域の掲示板や集会場に貼る。
- ・カラーコピー版として全戸配布
- ・要配慮者(高齢者等)へは民生委員等と協力して配布し、可能なら説明

高齢者の中には、ハザードマップの字が小さい、Web版は操作が難しく、閲覧しづらいという意見がある。

### 公民館やお店、病院等での掲示

### 自宅での掲示

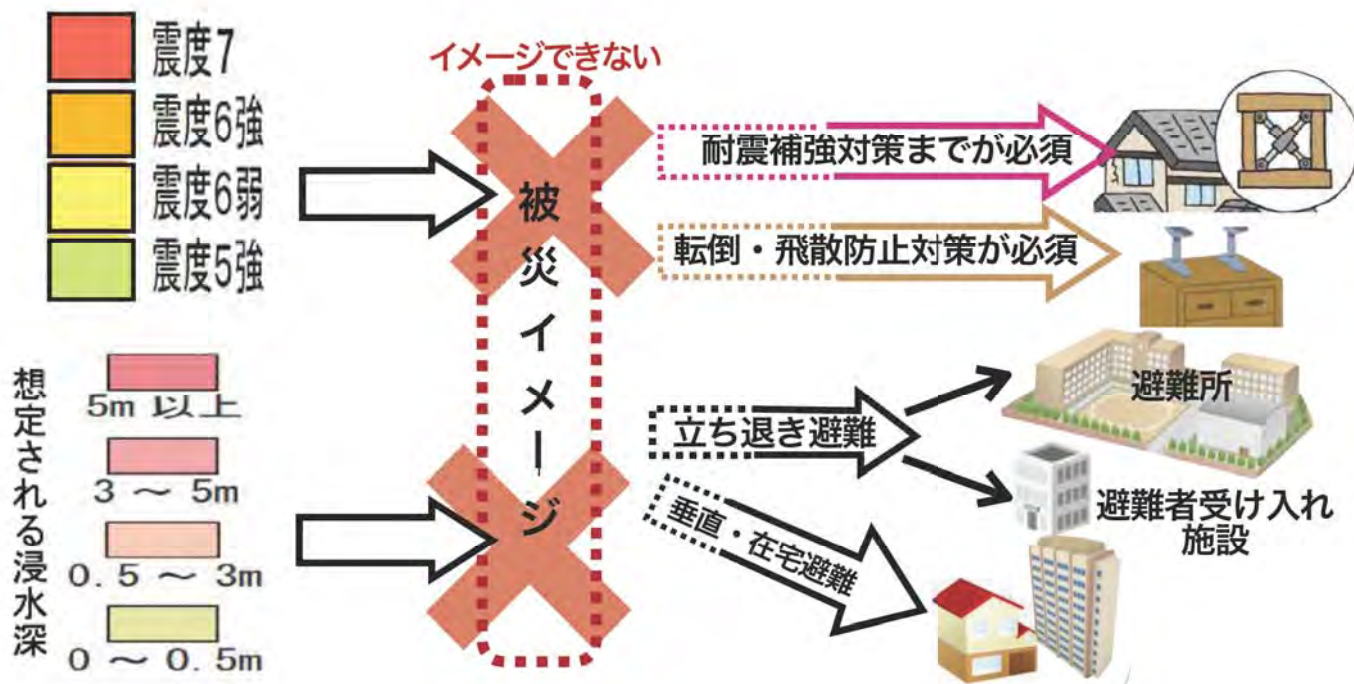
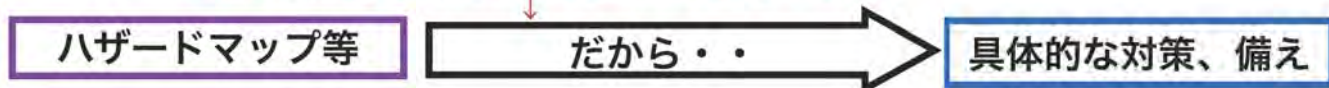


可能なら避難行動についても記載

まち歩き等により判明の地域の危険箇所も表示

①住民の備えへの動機づけ ⇨ ②災害から命を守るための呼びかけ

自主防災組織や消防団の啓発活動による導きが必須



②災害から命を守るための呼びかけ ⇨ 共助力により自助力を高める

避難所暮らし長期化  
災害関連死リスクの低減

地震防災の基本  
住まいの耐震補強

自宅こそ最良の避難所



生命の安全確保  
負傷リスク低減  
備蓄による生活

トイレ問題が生じない  
→ 自宅でトイレ利用  
上下水道× → 携帯トイレ  
トイレ破損 → 簡易トイレ



②災害から命を守るための呼びかけ → 共助力により自助力を高める



出典：一条工務店ホームページ  
耐震シェルター



出典：フジワラ産業ホームページ  
防災(耐震)ベッド



飛散防止フィルム



ジェルマット



L字金具



食器棚用耐震ロック

- ・家具等の固定率アップを目指す。(特に寝室や居間等を優先)
  - ・地域の行事等で試供しつつ、地域でまとめて購入する。
  - ・要配慮者(高齢者等)宅での固定等は地域で支援する。
- これによって、負傷を防ぐ、被災による後片付けを減らす。

②災害から命を守るための呼びかけ → 共助力により自助力を高める

例) 家具類転倒防止の普及・推進戦略の一例



地域行事のクイズや参加賞等の賞品を防災グッズに変えて、防災グッズの周知と購入促進をはかる。

高齢者宅で直接説明、対策支援の機会が作れる

・電球を自治会でまとめて安く購入し、高齢世帯等に割安で提供し、交換を請負う。

運営  
E...工夫、アイデアで企画

能力、技術のある方がたくさんいる。パソコンが使える人、家具の修理ができる人、デザインができる若者等。自治活動の中で活用しようという人材バンクをつくった。

自治会活動例にもヒントがある

高齢者宅の家具固定等の支援ができる方を把握

➡ここから家庭内防災推進をはかる。

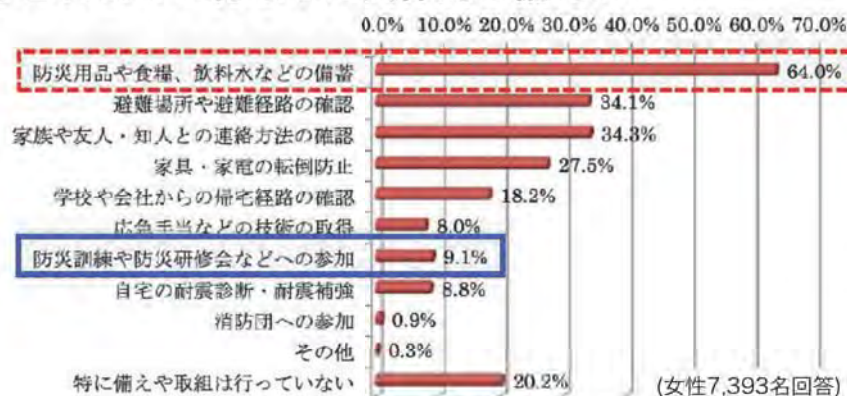
# 女性が防災に対する持つイメージや備え

## ◎防災に対するイメージは？



⇒ 必要性を感じている生活と直結する

## ◎これまでに行なった具体的な備えは？



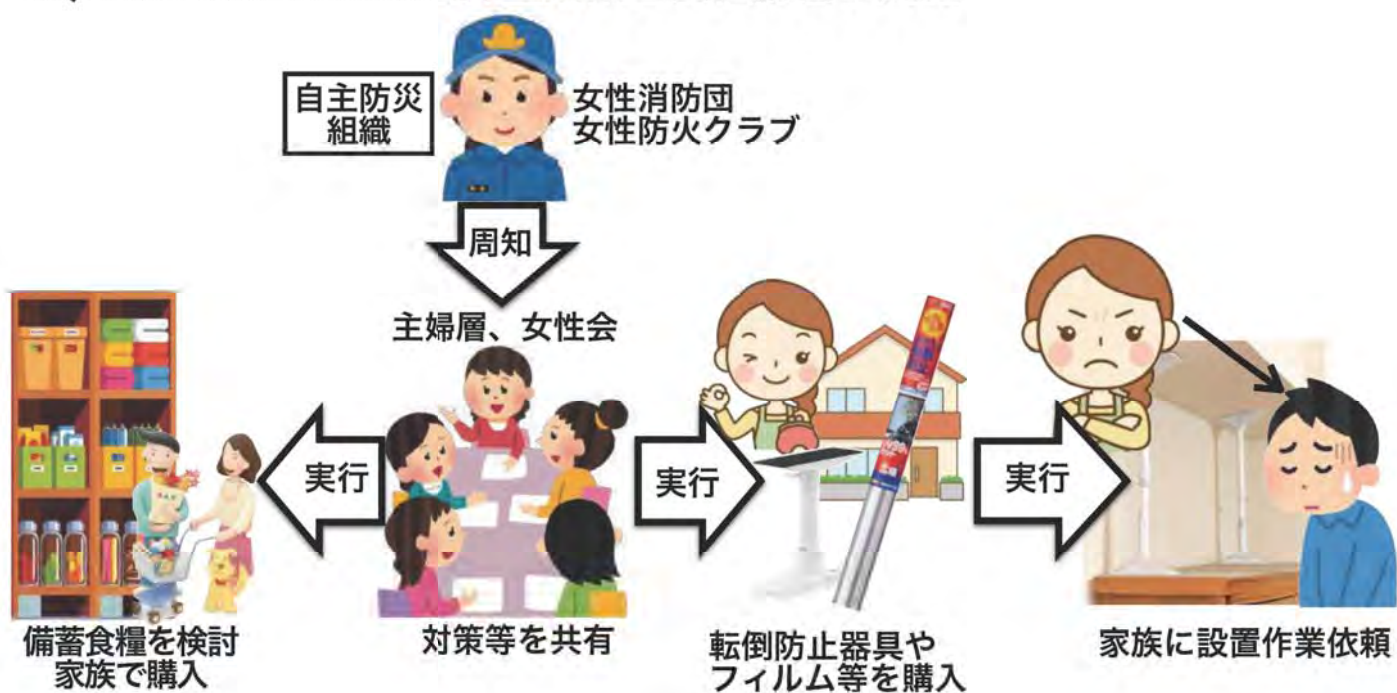
⇒ 備蓄を実行

⇒ しかし、研修会等へは参加できていない

出典：東京都調査（平成28年度）

## ②災害から命を守るための呼びかけ → 共助力により自助力を高める

### 例)主婦目線による被害抑止対策と食糧備蓄の実施



地域防災活動への女性参画を促進し、各家庭の災害抑止・防災力の強化を図りましょう。

## ②災害から命(生活)を守るための呼びかけ



水害・浸水のリスクが高くなる今後・・・

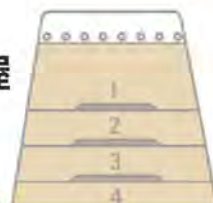
避難により命が助かることは重要、しかし度々の浸水被害によりその都度罹災証明書発行、家財道具廃棄と買い替え、復旧を繰り返すようでは、生活が破壊される。

特に、高齢世代は、被災による復旧作業や家財道具の廃棄による多額の出費と作業の労力をなくす事前のハード対策も今後の備えの選択肢の一つとして考えましょう。

## ③地域の点検と把握

地域の特徴を確認する

- ・災害の対象と範囲を把握
- ・足元を確認
- ・今からの備えを検討



災害図上訓練DIG等



地図を使って地域の災害リスクや現状を把握する

防災まち歩き  
防災パトロール



実際に現場で確認する

地域の防災マップづくり



現場の状況を記録する

消防団も協力

定期的に点検

自主防災組織の役割

自治会の役員や消防団で共有し、作成したマップ等を通じて住民に周知する。

掲示板への掲示や複製したものを全戸配布して住民に周知する。

#### ④迅速な初動対応への備え

例) 立ち退き避難時の備え → 共助力により自助力を高める

- ・ 個人での購入が無理な住民へは地域でまとめて購入。
- ・ 高齢者等が必要となるものは提示

避難所まで持っていける重さと大きさを調整する





携帯毛布



タオル



多機能ラジオ



おむつ圧縮袋



義歯



家庭や地域で考える

慢性疾患等の方は必須



飲料水



薬・薬手帳



ライト付き雨傘



ソーラー付きバッテリー



除菌シート



栄養補助食品等(個別包装)

接触感染防止対策

高齢者は要検討

#### ④迅速な初動対応への備え

例) 垂直(在宅)避難時の備え → 共助力により自助力を高める



普段使う缶詰、レトルト等の食品

+



飲料水  
↓  
保管場所を工夫

+



鍋とカセットコンロ

=

普段の食事



+



食器の確保



災害用トイレ



おむつ



生理用品



ラジオ



モバイルバッテリー  
(ソーラーパネル付き)



置き薬箱

見落としやすくかつ重要なもの

垂直避難時に2階に準備

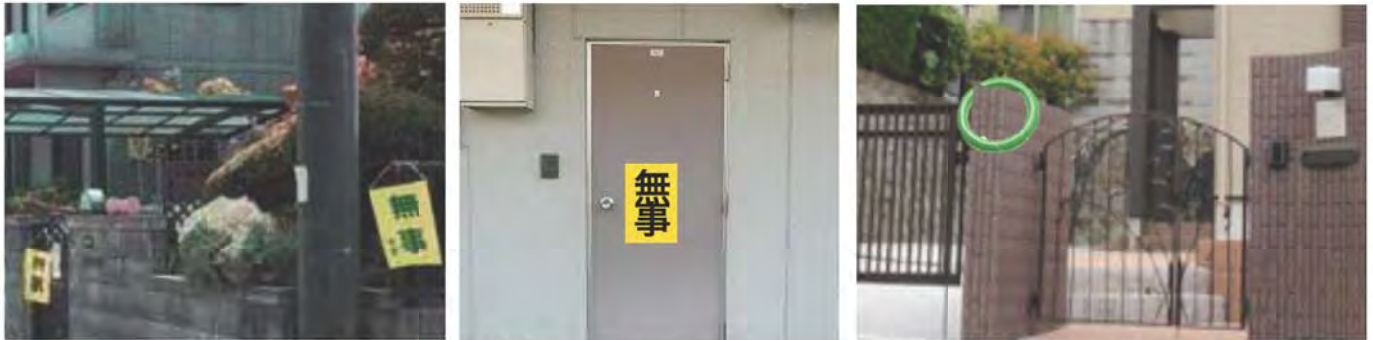


#### ④迅速な初動対応への備え

例) 少人数で迅速に安否確認、避難完了等の確認ができる工夫  
→効率よく共助をするために

- ・ 災害時の安否確認を効率よく行うための「幸せの黄色旗」
- ・ 避難したことを知らせる印(合図)

⇒災害発生時に無事な場合、避難する際に玄関に掲げる



無事を知らせる旗やマグネットシール

「避難した」を知らせる合図

基本は・・ **Search** & **Rescue**

探す

助ける

事前<sup>に</sup>要検討

住民はこの訓練のみ実施

#### ④迅速な初動対応への備え

例) 自主防災組織、民生委員と消防団等がハザードマップやまち歩き等で得られたマップを踏まえ、対応、避難を検討し、共有する。  
→個別避難計画づくりへの第一歩



民生委員

自主防災組織

消防団

関係者で検討

町内会役員

→効率よく共助をするために



自主防災組織の役割

自主防災組織、民生委員と消防団等が要配慮者への対応、避難を検討し、共有する。

## ⑤災害発生時の対応内容の訓練 → 共助力の実質化のために その訓練は形だけの形骸化したものになっていませんか？

訓練の目的は「**習得**」と「**検証**」です。

例えば・・・

- ・ 消火器による消火訓練
- ・ 声かけ訓練、情報伝達訓練
- ・ 搬送訓練、車いす介助訓練
- ・ 避難訓練
- ・ シニアポーズによる避難  
(高齢者避難の検証)



参加者らは自宅に消火器を  
設置しているのでしょうか？



参加者らは持ち出し袋を持参  
してきているのでしょうか？



大雨の時や途中に階段がある  
場合などを想定していますか？

## ⑥災害関連死の防止の備え

食品庫の食糧を踏まえ、最大7日間分をめどに備える。

ローリングストックなどの専門用語は不要。

備蓄・消費・買い足しは普段から各家庭がやっていること。

必要に応じて長期保存可能な災害食と組み合わせてもよい。

日常食品

レトルト食品

パックご飯

カップ麺

乾麺・ソース類

缶詰

フリーズドライ食品

ふりかけ

水  
(飲料用と調理用)

災害食

保存用パン

アルファ米

アレルギー対応食

食糧備蓄

## ⑥災害関連死の防止の備え

### 避難所運営で考える3つの観点

**居 食 什** で考える。

#### 課題の一例

##### ◎居→レイアウトを検討

- ・避難者居住スペースのゾーニング
- ・受付、配食、配給等の位置と動線
- ・男女別のトイレや更衣室、女性専用の就寝場所、洗濯干し場等の女性に配慮したスペースの確保
- ・授乳室や幼児のためのプレイルーム

##### ◎什→設備、備品の問題

- ・トイレ(排泄)の問題  
トイレまで遠い、段差がある、トイレが暗い
- ・女性や乳幼児のいる世帯に配慮した備品

避難所運営DIGで検討

実働訓練で検証

##### ◎食→要配慮者やアレルギー当事者に考慮

- ・避難所で支給される食事は、高齢者には適さない場合がある。  
例)肉類や菓子パンは高齢者には不向き、炊き出しはアレルギーに注意。
- ・災害時に義歯を紛失し、食事摂取に不自由をきたす。→早期発見と対応が重要
- ・災害によるストレスによって食欲がない。→早期発見と対応が重要

## 自主防災活動の持続を考える

活動をやり過ぎると危険

会長交代、資金難、マンネリ化、  
高齢化・若者不在 人材不足...

維持

自治会活動程度の負担

墜落  
活動停止

時間

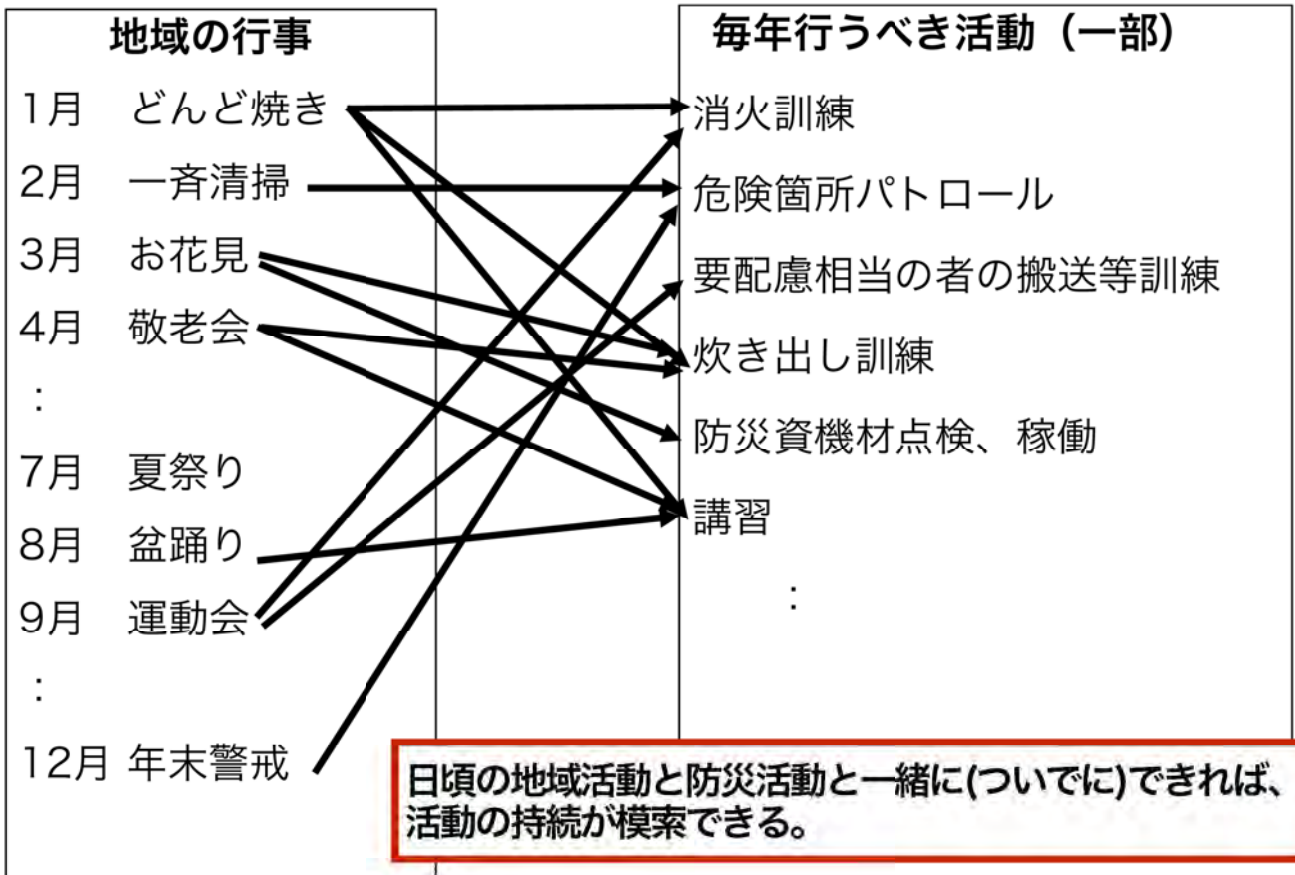
自主防災組織の役割

活動持続のための工夫を町内会役員等と考えましょう。

一度活動が停止すると、活動を再開するのは困難

# 自主防災活動の持続を考える

持続のために地元行事と防災活動とのマッチング作業を行う。



# 自主防災活動の持続を考える

## 地域活動とのマッチング例

ある地域で配布の行事案内を分析

消火訓練 炊き出し訓練 子ども+保護者参加促進

### どんど焼き・七草がゆ・もちつきのご案内

子ども会による「どんど焼き」、婦人会による「七草がゆ」、○○健康生活センターによる「七穀がゆ」、青少協による「もちつき」を今年も開催します。新年最初の地区行事です。ぜひご参加ください。

☆七草がゆ、七穀がゆ、おもちの振る舞いがあります。

○日 時 平成24年1月9日（月・祝日）

9：50～ もちつき体験（幼児・小学生）

10：45～ どんど焼き火入れ

11：00～ 七草・七穀がゆの振る舞い

11：30～ 防火講習会

○場 所 農協新倉庫

○その他 おわん、お箸はご持参ください。

※しめ縄はビニール・金具・飾りを取り外してご持参ください。



受付

防災知識周知・学習

避難所運営名簿チェック訓練

## 自主防災活動の持続を考える

### 地域活動とのマッチング例

瑞浪市で実施されている防災活動持続のための工夫例

#### 明世地区 まちづくり推進協議会だより



どんど焼き→消火訓練、炊き出しの例

#### 月刊 いなつびより



今年のテーマは  
防災でした

地域の運動会での実施の例

## 自主防災活動の持続を考える

小学生から大人まで幅広い世代が参加する自主防災活動  
(香川県丸亀市 川西地区自主防災会)

川西地区では、防災訓練だけでなく、夏祭り、芋炊き大会など  
様々な地域活動を実施。芋炊き大会が炊き出し訓練を兼ねたり、  
ウォーキング大会と連動して防災フェアを実施する、など工夫を  
している。



子どもたちが土づくりに挑戦



子どもたちがロープワークに挑戦

## 自主防災活動の持続を考える

6つの自治会が一つになって防犯・防災に取り組み、負担を軽減  
(西大和6自治会連絡会:奈良県 上牧町)

- 活動を継続して実施できる体制
- 自治会間の協力体制の構築
- 戦略・対策・経費面のメリット



要配慮者避難支援訓練



サバイバルキャンプ

## 学校と地域との連携

小中学校の運動会での防災競技を通じて保護者や地域との連携を促進

運動会種目の中に防災競技を1、2つ取り入れる。

児童・保護者・地域住民が防災拠点(学校)で訓練(競技)



多忙な保護者(若い世代)と  
地域住民が参加

安心・安全に運ぼう搬送リレー  
美味しく楽しく非常食準備競争  
防災借り物競争  
みんなで一緒にバケツリレー  
:



## 自主防災活動と防犯活動

自主防災活動と防犯活動を一体化、組織も一体化

例) 地域で取り組む防犯防災活動

福岡市

中央区笹丘校区

### 笹丘校区危機管理部

いつ起こるか分からないからこそ  
常に意識しなければ

校区内の防災組織について話し合う中で、私たち子ども達を非行や犯罪被害から守る“防犯”と、いつ起こるか分からない“防災”を合わせて常に意識することが必要と考えました。そこで防犯・防災に限らずあらゆる危機管理を目的とした活動組織として、2005年4月下旬に設立しました。

## 自主防災活動と防犯活動

捉える観点が異なるだけで、**防災活動**と**防犯活動**の実施形態は似ている。

地域の安全点検

<防災活動>

防災まち歩き

防災パトロール

地域で作る**防災**マップ

<防犯活動>

防犯まち歩き

防犯パトロール

地域で作る**安全安心**マップ



例) 子ども達の通学路の点検(若い世帯の参加も促せる)

- ・日頃から保護者、教職員、地元が連携してまち歩き、パトロールを通して危険箇所をチェック
- ・倒壊していきる既存不適格なブロック塀等はないか?
- ・通学路の用水路、側溝は安全か?  
(柵のない用水路、蓋のない側溝など)
- ・土砂くずれの危険箇所はないか?



自主防災組織が危険箇所を把握、防災マップ化して周知  
通学中に災害が発生! 子ども達はどうすれば?  
防犯→子ども110番の家が設置・・・では防災は?



## 自主防災活動と防犯活動

定期的な防災(まち歩き)パトロールを継続するには

- 草刈りや清掃活動のような地域一斉活動の際に地域の点検も併せて行う。
- 防犯パトロールや交通安全指導のついでに点検を実施
- 防犯のわんわんパトロールを参考に、日々のウォーキングや買い物のついでに経路上の点検も行う。

防災パトロールの際にこの色(防犯色)を着用すると、防犯パトロールと見られ、犯罪抑止力が働く



日々の散歩する方に依頼



防犯・交通安全指導のついでに

## おわりに 先人からのメッセージ

有備無患

中国史書  
春秋より

↑  
発災時、  
問題は生じない

思即有備

↑  
事前の備えを  
行えば

居安思危

↑  
想定を踏まえ

災害図上訓練

# DIG



## Disaster 災い

## Imagination 考える

## Game いろいろやってみる

災害図上訓練DIGで準備する主な道具



OPPフィルム  
(切断して使用)



油性マーカー  
(太⇄細)



●シール



付箋紙



マーカー消し

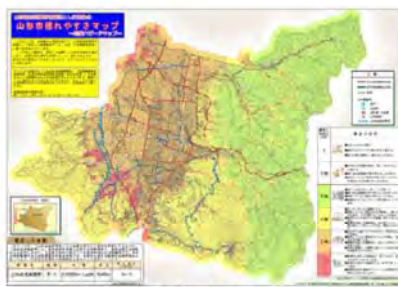


養生  
テープ



対象地域の現在の地図  
(入手については市町村に相談)

◎地震をテーマとした場合



揺れやすさマップ  
震度想定資料

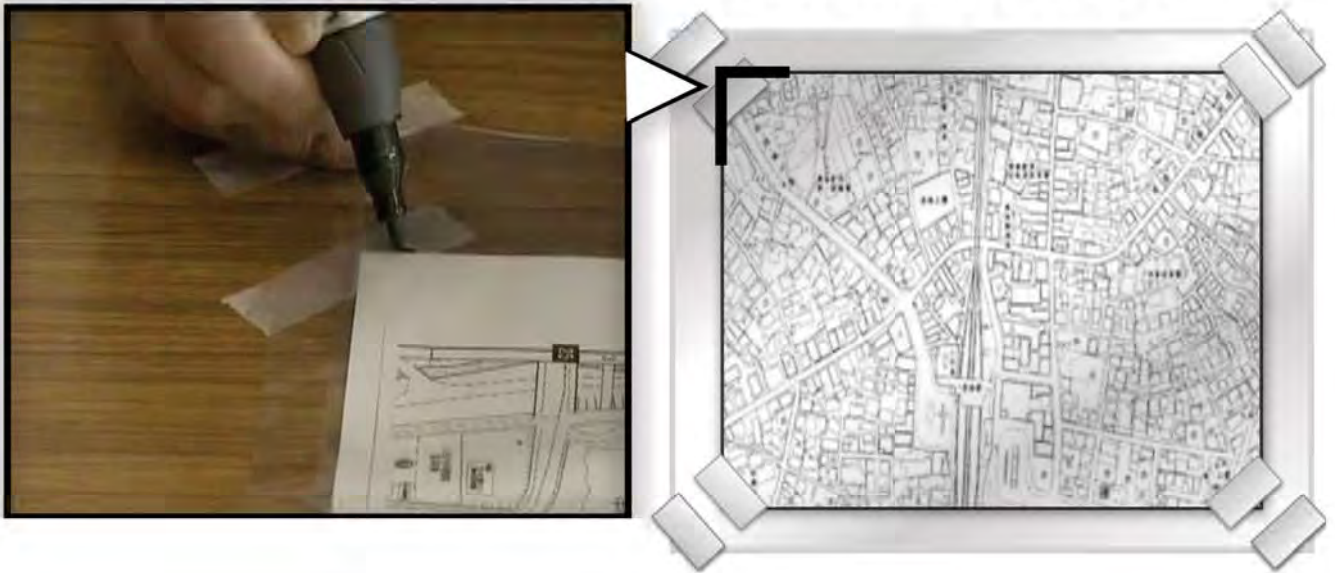
◎水害、土砂災害を  
テーマとした場合



洪水・土砂災害  
ハザードマップ

## **準備** 図面のセッティング

- ①地図をセットしてください。
- ②最初に地図をテープで固定してテープでとめます。
- ③その上から透明シートを1枚かけ、テープで固定してください。
- ④マーカーで地図の四隅に印をつけてください。



**災害図上訓練DIG  
共通作業**

## 地域の確認 着色作業 地域の特徴をつかみます

- 災害時に多目的に使えるような  
広場、公園、運動場、駐車場を  
緑色の斜線で塗りましょう。



- 河川、ため池、用水路、海岸線を  
青色の線でなぞりましょう。

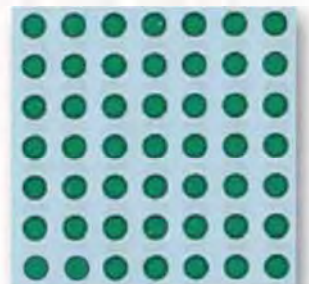


- 鉄道があれば  
黒でなぞりましょう。

## 地域の確認 着色作業 地域の特徴をつかみます

- 公的避難所(行政指定の避難所)に  
緑色●シールを貼りましょう。

例) 避難所、避難場所等



## 地域の確認 着色作業 地域の特徴をつかみます

● 住民の視点で見た災害時に役に立つ防災資源に青色●シールを貼りましょう。



例) 井戸、防災倉庫、病院、コンビニ、薬局、カー用品、ホームセンター、食料・飲料水確保等



## 地域の確認 着色作業

● 自主防災組織、町内会などをベースに災害が発生したときに組織的活動をする範囲を確認する。

→ 黒色で囲む

→ これ以後の作業や課題についてはこの範囲内で検討する。



# 災害図上訓練DIG

## 震災編



### 地域の確認 着色作業 地域の特徴をつかみます

自分の地域(黒線の枠内で)

- 地震に対して弱い古い木造住宅(築昭和55年以前)を黄色で塗りましょう。

黄色  
地震に対して弱い古い木造住宅  
(築昭和55年以前)



- 地震に閉塞道路し、通れなくなる道路をピンク色で塗りましょう。

例) 道幅2m以下、行き止まり、車1台のみが通る道路  
老朽木造(黄色)に囲まれた道路



## 課題1 被害確認と安否確認

もし、大きな地震が発生したとしたら・・・

- 被害確認と安否確認はどのようにして行いますか？  
流れ、方法、人数を箇条書きでA4用紙に記入

例) ××へ参集、○人で、地図上の順で、個別訪問で・・・  
動きを地図に→矢印（色はおまかせ）などで記入

- 状況が確認されるまでの時間は？



**確認 地震の震度** 自分の地域の想定される震度を調べましょう。



山形市揺れやすさマップ



米沢市揺れやすさマップ

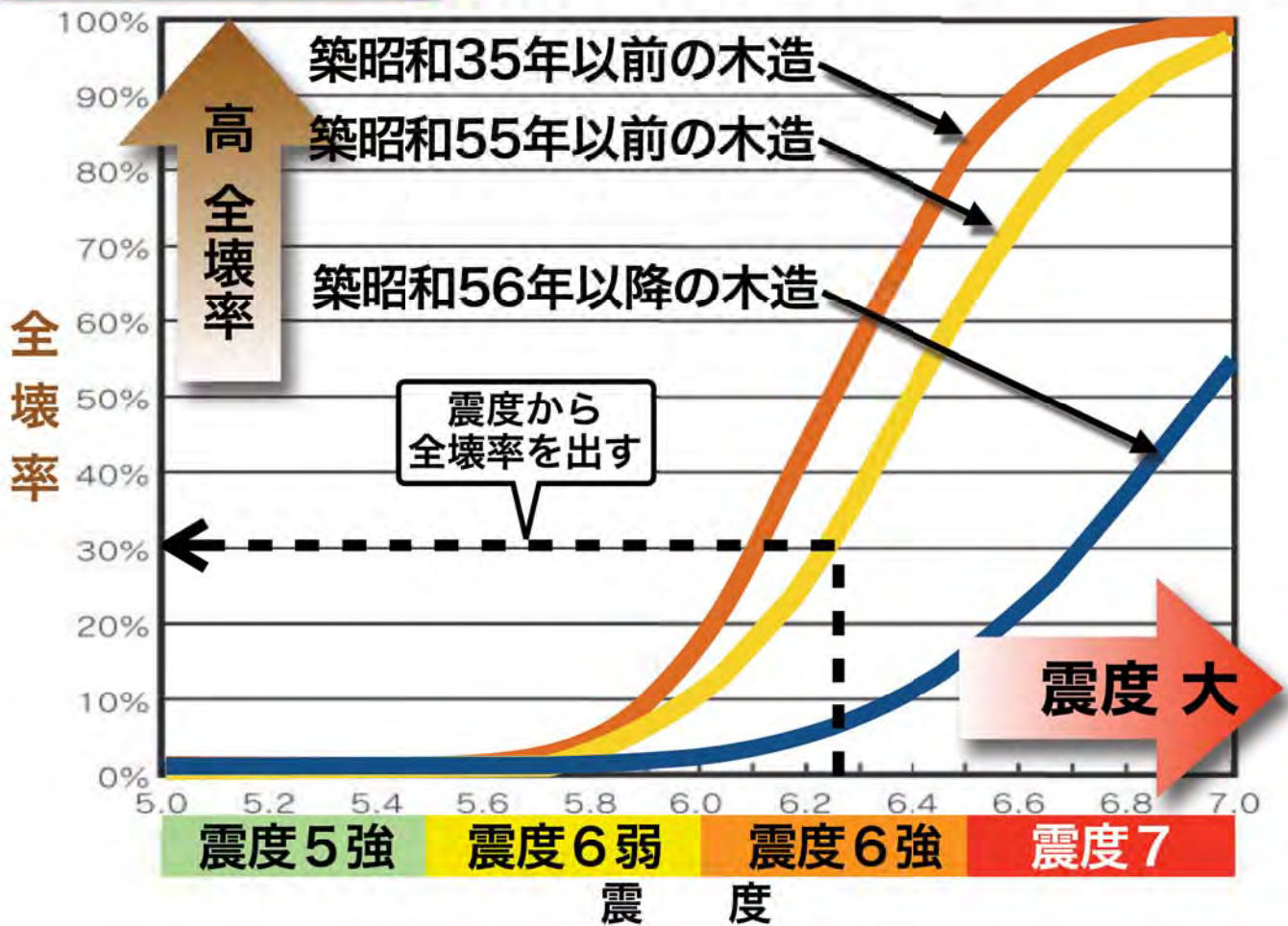


酒田市揺れやすさマップ



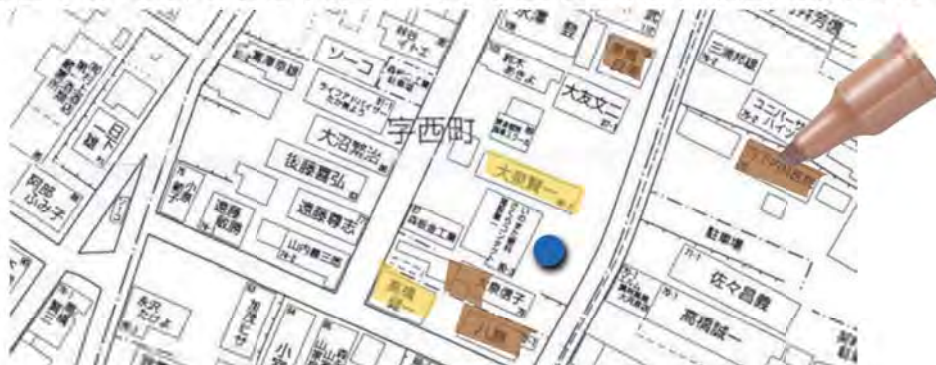
鶴岡市地震ハザードマップ

**確認 家屋被害の確認** 震度から木造家屋全壊率を算出してみよう。



**確認 全壊家屋被害数**

- 木造家屋の全壊率の割合をもとに黄色に茶色の×印をつけましょう。  
例) 全壊率が30%なら黄色10軒あたり3軒の割合で茶色の×印をつける



**確認事項**

- 全壊家屋数は？
- 閉じ込め人数は？

## 課題2 対応活動の検討

もし、地域で家屋の全壊被害が生じたら・・・

- ・どこから、何人で助けますか？
  - ・救助道具には何が必要で、その数は？
  - ・けが人の搬送先と搬送方法は？
- など、何ができるか検討しましょう。

### 搬送場所



## 課題3 対応活動(火災発生の場合)

もし、地震後に火災が発生したら・・・

- ・初期消火しますか？その方法は？
- ・避難誘導はどうしますか？



## 課題4 対応の流れの整理

自主防災組織や地域に関連した組織の対応の流れを整理しましょう。

優先順 または 組織の役割	地震発生 3分後 対応内容 ..... 付箋紙 対応内容 .....
必要となる 資機材	

### まとめ これからの備え、活動

以上からまとめて  
この地域の地震に対する

- ◎今後必要となる活動・訓練と備えは？
  
- ◎すぐには無理だが将来時間をかけて取り組むべき活動は？

# 災害図上訓練DIG

## 風水害・土砂災害編



**確認 災害範囲の特定** ハザードの把握を行います

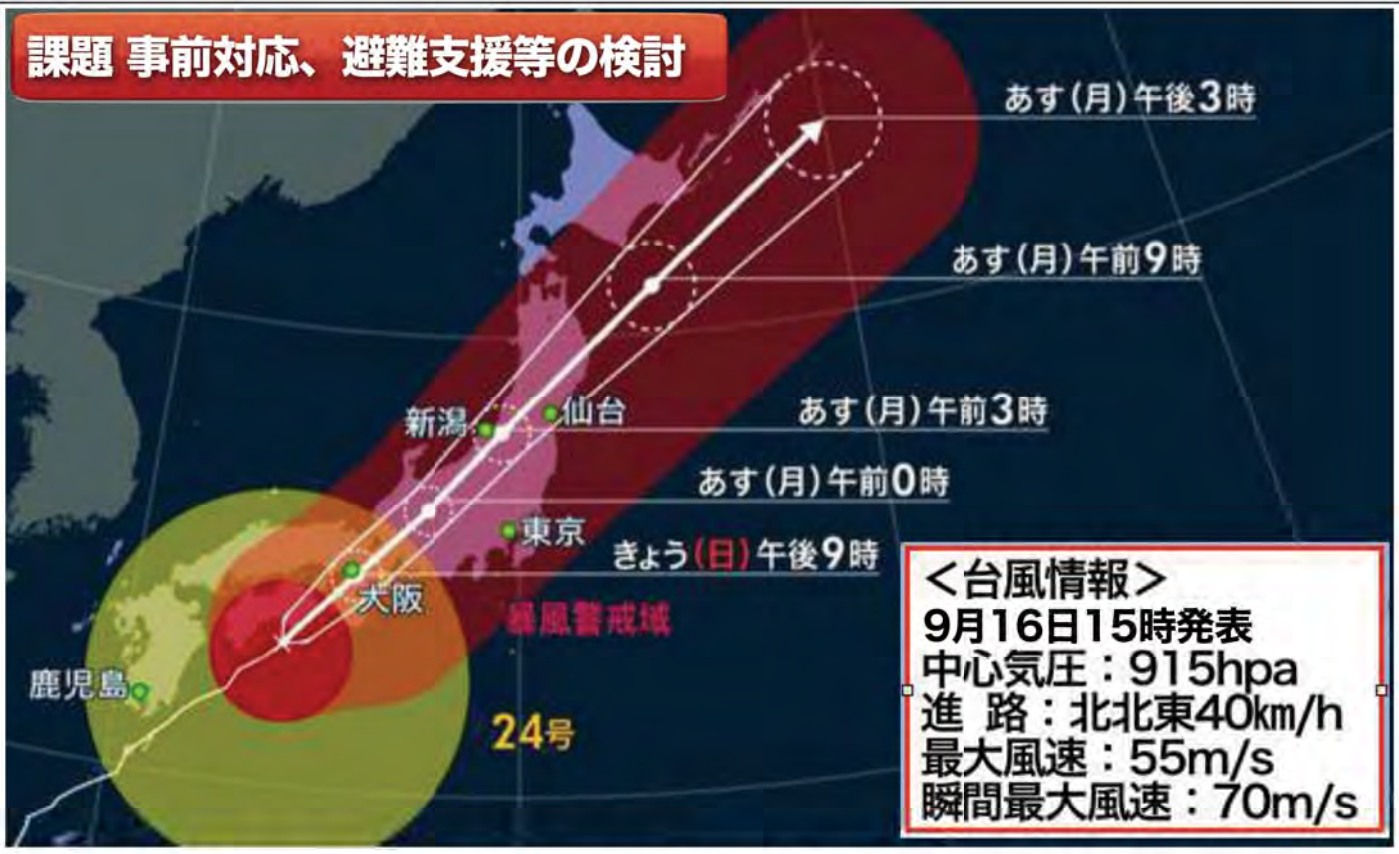
配布のハザードマップを参考に浸水する範囲を**水色**、**紫色**で塗りましょう。



また、土砂災害の恐れのあることを**茶色**で塗りましょう。

大雨時に危険となるところに**赤●シール**を貼りましょう。

# 課題 事前対応、避難支援等の検討

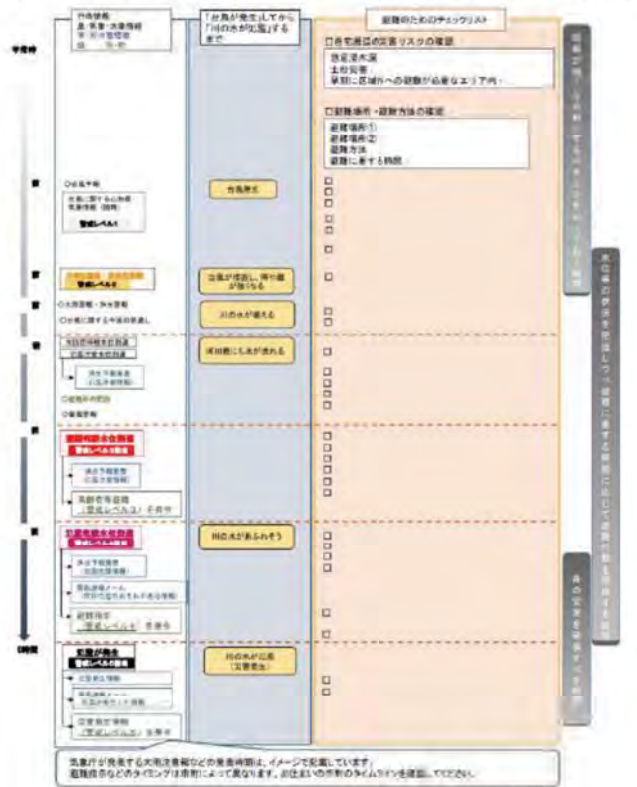


**<台風情報>**  
 9月16日15時発表  
 中心気圧：915hpa  
 進路：北北東40km/h  
 最大風速：55m/s  
 瞬間最大風速：70m/s

このような台風が接近し、浸水被害や土砂災害が迫っていったら・・・  
 例えば自主防災組織は事前にどのような対応をしますか？  
 要配慮者などへの対応も含め、話しあってください。

## 課題2に対する対応の整理の方法

ある程度活動ができている地域の場合



山形県マイタイムラインを参考に検討

活動がこれからの地域の場合

対応(活動)の優先順を列挙

- 
- 

優先順に対応(活動)を列挙してみる

## まとめ これからの備え、活動

以上からまとめて  
この地域の風水害・土砂災害に対する

◎今後必要となる活動・訓練と備えは？

◎すぐには無理だが将来時間をかけて  
取り組むべき活動は？

## <災害図上訓練DIGの参考書>



解説書

第6版 地域防災とまちづくり  
みんなをその気にさせる図上訓練

著者：瀧本 浩一

ISBN：9784872999266

イマジン出版株式会社



実施マニュアル(説明セリフ入り)

災害図上訓練DIG 住民・自主防災組織編

著者：瀧本 浩一

ISBN：9784991204104

有限会社 岩本商事

# 防災まち歩きとマップづくり

山口大学大学院 創成科学研究科 瀧本 浩一  
総務省消防庁 消防大学校

	机上で検討	現場で検証
どこが？ どこで？	図上訓練 マップづくり	<b>まち歩き</b> パトロール
いつ いつまで？	図上訓練	訓練

## 事前準備

### まちあるきに向けて

- ・対象とする災害は？ 地震または水害、土砂災害？
- ・まち歩きする範囲と経路を決めましょう。
- ・まち歩きする範囲、経路上に  
どのような危険箇所が予想されますか？  
どのような防災資源（避難所、災害時に有効な所）が  
ありそうですか？

災害・防災に関するどこかの現場検証  
地域の危険箇所、防災資源を現場で把握する  
⇒**防災まち歩き、パトロール実施の意義**



不適格ブロック塀



外壁の落下



## まち歩きをする

### ◎役割を決める

- ・リーダー：引率、経路確認
- ・記録係：対象地域の縮小地図への記録
- ・撮影係：デジカメ、ポラロイドカメラ等
- ・安全管理：交通事故防止



## まち歩きの注意点

- ・団体行動であるので、個人の身勝手な行動は慎む  
→グループが分散してしまう。
- ・交通事故、特にバイク、自転車等の接触に気をつける。
- ・他の歩行者へ配慮する。
- ・危険・注意箇所が個人の所有物の場合、その場で議論、撮影はトラブルのもと

## 防災まち歩き 地震の場合

見るところ、災害がおこったという想定で

- ・ **老朽建物の状況**の確認
- ・ 地震時の**危険箇所**(転倒、落下、崩落等)
- ・ 防災資源：災害時に役に立つ所
- ・ 避難所、場所の確認
- ・ 道路の幅 (地震時に閉塞しないか?)

## 防災まち歩き 風水害・地震の場合

見るところ、風水害・土砂災害の観点で

- ・ **危険箇所**
- ・ 防災資源：災害時に役に立つ所
- ・ 避難所、場所の確認
- ・ その他気になった所、不安な所

## まち歩きお疲れ様です。結果のまとめ

◆災害時の危険箇所がありましたか？

**赤色●**シールを貼り、内容を付箋紙に記入しましょう。

◆防災資源はどうでしたか？

**青色●**シールを貼り、内容を付箋紙に記入しましょう。

写真の貼り方 吹き出し型



写真の貼り方 曼荼羅型



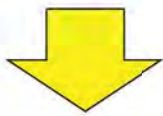
写真の貼り方

◆課題やその他、気になったことがありましたか？  
意見交換してください。

# マップの使用目的を定める

マップで何を伝えるのか？

- ・避難を支援する？
- ・災害対応を支援する？
- ・危険箇所・ハザードを周知する？



事前型啓発目的

発災時利用目的

## 防災マップの役割 啓発周知目的のマップの例

凡 例	
	区役所出張所
	消防出張所
	消防団車庫 (自主防災組織活動員器材庫等)
	警察署・交番
	救急告示病院・診療所
	広域避難場所
	生活避難場所
	近隣避難場所
	水防避難場所
	目撃場所
	下水処理・清掃工場・埋立地等
	備蓄倉庫
	災害対応TF活動拠点
	臨時ヘリポート
	浄水場・緊急遮断弁付配水池等 (数日水が供給されます。)
	急傾斜地
	防災行政無線屋外受信機
	屋外放送設備
	昭和46年以前の住宅
	消火栓
	防火水そう
	プール
	池水
	寝たきり家族世帯
	発動発電機
	炊き出し用具
	救出用器具
	救護等の人材確保
	手押しポンプ井戸
	動力ポンプ井戸
	栗屋(ミルク)
	公衆トイレ
	公衆浴場
	公衆電話
	避難道路
	主要道路
	緊急輸送道路
	土石流危険渓流
	急傾斜地崩壊危険箇所

# 道路冠水状況マップ《保管》 西花園区

台風 23 号当時の周辺道路冠水状況の報告に基づいて『道路冠水状況マップ』を作成しました。このマップは、今後もしも水害が発生した際に、安全・安心して避難する経路確保のための防災マップとしてご家庭で保管し、ご活用ください。

## 【主な場所と道路冠水位】

- 0.4m未満
- 0.4m以上～0.6m未満
- 0.6m以上～0.8m未満
- 0.8m以上～1.0m未満
- 1.0m以上～



**防災マップの役割  
大雨時の避難支援のマップの例**



(1564～1642 伊ヴェネチア共和国)

書きとどめよ、  
考え、議論したことは  
風の中に吹き飛ばしては  
いけない・・・

ガリレオ・ガリレイ

# デジタルを活用し 日ごろの備えと災害時の行動をつなぐ ～防災タイムラインを中心に～

自主防災組織リーダー研修会 講演資料

2025年10月9・10日

CSRユニット 災害協定担当

森 禎行

LINEヤフー

© LY Corporation

## 自己紹介

森 禎行（もり さだゆき）

LINEヤフー株式会社  
サステナビリティ推進 CSRユニット  
防災士



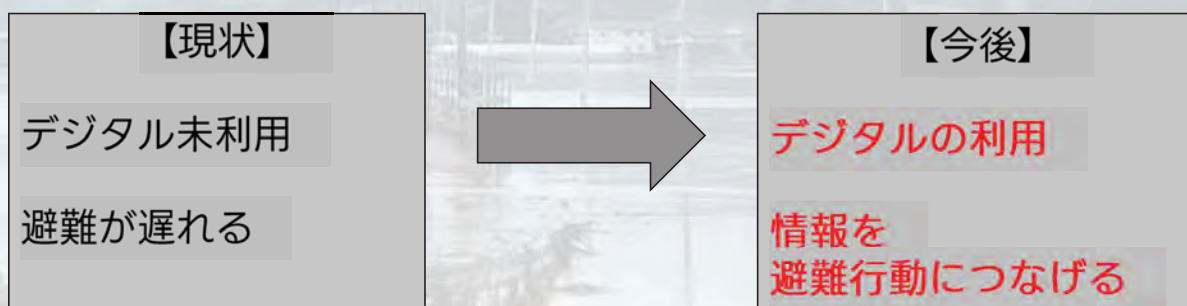
- ・（前職）新聞記者
- ・Yahoo!ニュースの編集者
- ・東北共創チーム（東北復興支援）
- ・【現在】防災・災害支援業務

※災害協定担当

© LY Corporation

## はじめに

- ・ 山形県では毎年のように、大雨など災害が発生
- ・ 行政やメディアから情報が届かないと、避難が遅れたり被害が生まれる現状があります
- ・ 日ごろから備えを行い、地域リーダーの皆様には、「**情報を防災行動につなげる**役割」が求められています



© LY Corporation

3

## 本日のゴール

デジタルを活用して、  
「平時から災害に備える」ことの大切さを理解し、  
タイムラインの設定などを通して、  
地域リーダーとして「備えを広める」一步を踏み出す

© LY Corporation

4

## 本日の構成

1. LINEヤフーの防災への取り組み
2. 山形県の災害をめぐる現状
3. 「防災タイムライン」での「日ごろの備え」
4. まとめ

## 1. LINEヤフーの防災への取り組み

## 平時から利用できる、LINEヤフーの災害協定

自治体（山形県・山形市など）と協定を結び、インターネット（デジタル）を活用して、住民に、災害から身を守るための防災情報を、タイムリーに提供します

### ▼災害協定の項目

#### (1) 情報を守る

キャッシュサイト

#### (2) 情報を掲載する

避難施設の掲載

#### (3) 情報を拡散する

自治体からの緊急情報



## 情報を拡散する / 自治体からの緊急情報

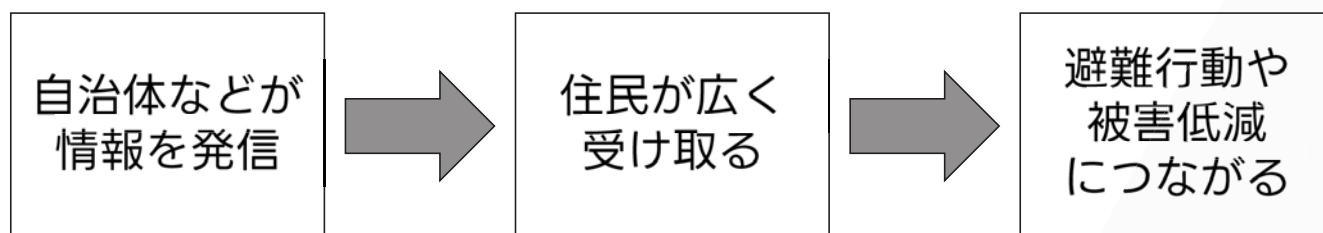
自治体が住民に、防災・災害情報を、広く届ける機能です

- ・ 平時：防災や住民保護の情報
- ・ 災害時：注意喚起や避難につながる情報



## 住民は、情報を受け取り、避難行動へ

防災情報を受け取ることで、**住民は避難や被害低減につながります**  
多くの住民が利用しているため、地域内に広げやすいツールです



## ヤフーの2つのアプリで、情報を受け取れます

スマホの**プッシュ通知**で情報を受け取れます



Yahoo! JAPANアプリ

地域設定（市区町村ごと）した自治体の情報



Yahoo!防災速報アプリ

地域設定した自治体の情報

または

現在地が、その自治体内の場合

※7000万ダウンロード突破

### ■特徴

- ・ 日常使い  
普段のアプリで情報取得
- ・ 多くの利用者  
全国の市町で利用
- ・ 高い信頼性  
デマ情報を回避

# 大雨時の配信例と「行動」イメージ

## 大雨前

## 大雨時

## 大雨後



気象情報

富山県内で大雨警報が発表され

更新: 2024/9/19(木) 7:50



緊急

鳥取県では16日昼過ぎから夜のはじめ

更新: 2024/7/16(火) 9:12



災害

◎線状降水帯発生予測情報の発表

更新: 2023/9/5(火) 21:56



緊急

台風・大雨に厳重警戒を!

更新: 2024/8/16(金) 13:22



災害

国道2号、一部全面通行止め

更新: 2022/9/19(月) 13:18

廿日市市内の一般国道2号、丸石港前交差点～  
越波のため全面通行止めとなっています。

住民は、  
行動（避難）へ**気づき**、  
準備を始める

- 早期の気づき
- 避難の準備を始める  
ex. 気象情報

住民が決断し、  
避難に「**動く**」情報

- 避難情報
- 線状降水帯情報

二次被害を抑え、生活再建に向  
けた情報で**復旧**を目指す

- ライフライン
- 生活情報

## 2. 山形県の災害をめぐる現状

# 山形県の災害をめぐる現状

## 大雨



出典：Yahoo!ネット募金  
令和6年7月 秋田・山形豪雨 緊急支援（OPEN JAPAN）<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5548002>  
令和6年7月大雨災害への支援（日本財団）<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5166010>

© LY Corporation

## 大雪



出典：山形県警察 大規模災害（雪崩等）対応訓練の実施  
<https://www.pref.yamagata.jp/803001/kensei/police/yamagatakenkeisatsu/organization/policestation/murayama/saigaikunren.html>

# 災害時の住民の課題

- ・ 情報がない
- ・ 避難が遅れる

## ■災害対応は「日ごろの備え」から■

「備え」があれば、災害時の行動の速さと確実性が変わります

- ・ 情報がない ⇒ **スマホでも情報取得**
- ・ 避難が遅れる ⇒ **各人の意識向上と、日頃の地域内連携**

© LY Corporation

### 3. 「防災タイムライン」での 「日ごろの備え」

## タイムラインとは？

災害の前に、「いつ・誰が・何をするか」を決めて整理した計画  
特に、住民個人が考えて決めるのが「**マイ・タイムライン**」です

### ■特徴

- ・ あらかじめ準備
- ・ 家庭や地域で共有する

### ■メリット

- ・ 行動を事前に想定できる
- ・ 家族・地域で役割の分担がわかる

⇒ **災害時に、スムーズな防災行動へ**

川があふれるまえに、  
どう行動するか考えよう

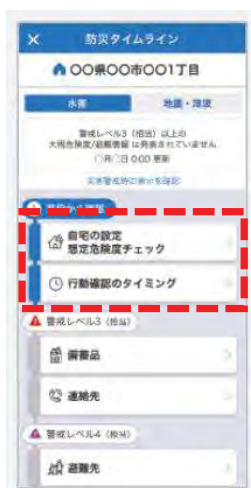


出典：国土交通省関東整備局 Webでマイ・タイムライン  
<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/mytimeline/index.html>

## 「防災タイムライン」を設定しましょう

「マイ・タイムライン」のデジタル版が「**防災タイムライン**」です  
防災行動を事前に確認し、災害警戒時の行動を後押しします

### 設定例



- ① 自宅の「想定危険度」をチェック
- ② 行動開始のタイミングを選ぶ
- ③ 備蓄品や連絡先、避難先を設定 (任意)

## 防災タイムラインの設定 Yahoo!防災速報アプリを利用



- ① Yahoo!防災速報アプリをダウンロードします
  - ② 画面下の「防災手帳」から、「**防災タイムライン**」をタップ
- ※Yahoo! JAPAN IDでのログインが必要です

# 防災タイムラインの設定 ①想定危険度をチェック



①自宅の場所を選択

②ハザードマップも確認できて、「想定危険度」がわかります

# 防災タイムラインの設定 ②行動開始のタイミング



選んだ内容をもとに、  
確認を促す通知が届きます

行動開始の**タイミング**  
を選びます

## 防災タイムラインの設定



© LY Corporation

### ③連絡先や避難先を設定

以下を任意で設定します

#### ■備蓄品

世帯人数などを入力し、  
必要な分量を確認

#### ■連絡先

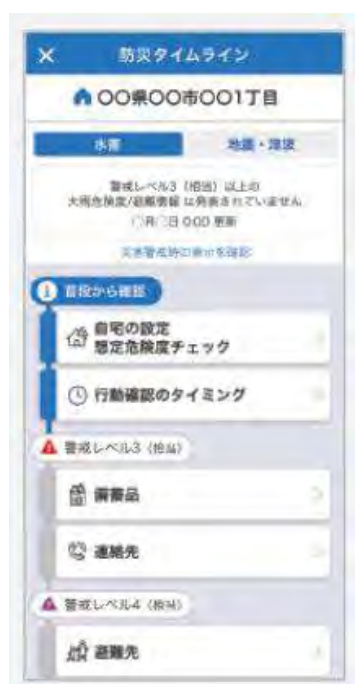
連絡先のリストを作成

#### ■避難先

指定避難所や家族の家など  
避難する場所を地図上に保存 21

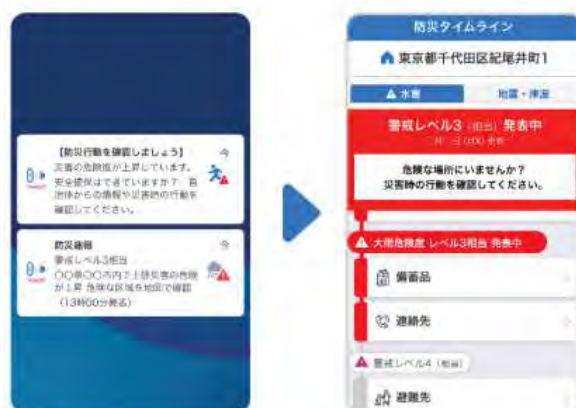
## 防災タイムラインの設定

### ④作成完了



© LY Corporation

災害の警戒時は、  
防災行動の確認を促す  
**プッシュ通知**が届きます



# LINEも活用して、情報共有しましょう

LINEは月間約**9,800万人**のユーザーが「日常的に使うアプリ」です。



## 活用方法

1. 自治体の公式アカウントから、情報を受け取る
2. 「安否確認」を家族や知人に知らせる
3. 自主防災地域や家族で、「LINEグループ」を作成する



参考：「山形県」LINE公式アカウント

# 情報ツールとしてのLINE

令和6年能登半島地震における情報ツールの活用に関する調査研究の結果では、発災後の情報源としてテレビの次に「LINE」が活用されていました。

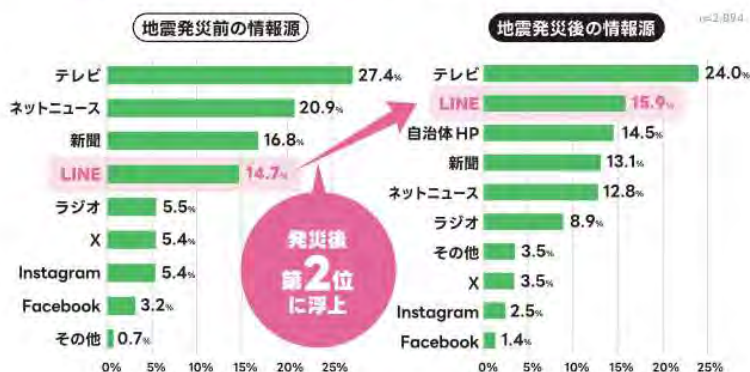
## 課題 被災地の「情報格差」をLINEが埋める

令和6年能登半島地震では、被災住民の約2人に1人が「情報を得られる人と得られない人で差があった」と実感。



## 変化 災害時の主要情報源へ進化

地震発災後の情報源に関する調査では、LINEがテレビに次いで第2位に浮上



# 情報ツールとしてのLINE

## 貢献 リアルタイムな「つながり」と「安心」の提供



### 自治体のLINE公式アカウント

**公助**において正確で広域的な通知手段。  
(ただし、一方通行が現状)

類似する伝達手段  
防災無線、テレビ、広報紙



### LINEのグループトーク、LINEオープンチャット

**共助**の中心。地域内や即応編成される支援チーム等、局所的で柔軟に活用。

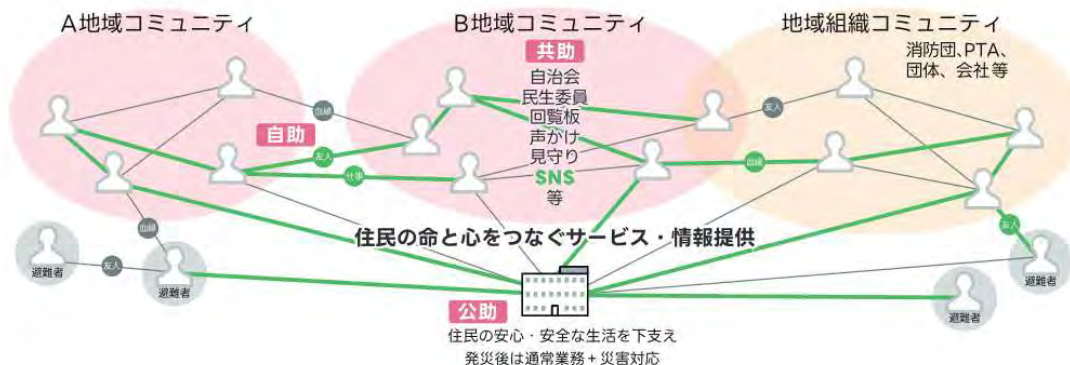
類似する伝達手段  
集会、回覧板、井戸端会議、自主防災会



### LINEの1:1トーク、音声通話、ビデオ通話

**自助**、**共助**のツール。個別で特定個人間のやりとり。

類似する伝達手段  
電話、個別訪問、口頭伝達



© LY Corporation

金沢大学と共同で実施した災害時の情報ツールの活用に関する調査研究の結果 <https://notamirai.w3.kanazawa-u.ac.jp/news/153725/>

## 4. まとめ

© LY Corporation

## 自主防災組織リーダーが、今日からできること

### 【個人として】

- Yahoo!防災速報「防災タイムライン」を作る
- **家族**と話し合い、行動を確認する

### 【防災リーダーとして】

- **地域住民**にも、タイムラインを広める

⇒災害時、プッシュ通知など情報をきっかけに、避難行動を開始

## まとめ 防災組織リーダーは「伝道師」

防災組織リーダーは、**情報を行動につなげる伝道師**です

防災は「日頃の備え」から

デジタルツールを活用し、防災と被害低減につなげましょう

- タイムラインの作成
- LINEの活用
- **地域住民**にも広める

# ありがとうございました

お問い合わせ先

LINEヤフー株式会社 CSRユニット

担当：森禎行

メール：[smori@lycorp.co.jp](mailto:smori@lycorp.co.jp)